資料５－８

令和８年４月３０日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

令和８年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●申請の概要

事業数	４事業
事業費総額	２，６７５，７００円
交付金限度額	２，５８９，０００円
交付金申請額 （うち加算額）	２，５８９，０００円 （０円）

●添付資料

・交付申請書及び事業計画書　P1～P13
・参考写真　P14～P21
（令和８年度夢づくり地域交付金事業のイメージ）

様式第1号(第6条関係)

令和8年3月27日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町1丁目1番地
名　称：瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金交付申請書

（　通常事業　・　ステップアップ事業　）

このことについて、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

1. 事業名

単位:円

事業名	事業の種類	交付金申請額
総務広報事業	イ、オ、カ、ケ、ス	1,440,000
防災防犯事業	ア、カ、ケ	110,000
健康福祉事業	イ、エ、ス	280,000
青少年育成事業	イ、ウ、カ、ス	759,000
(　　)基金積立事業		
合計		2,589,000

※　通常事業の申請の場合、事業の種類欄に、規則第1条の2第1号に規定する事業ア～スのうち該当するもの全てを記載すること。

2. 添付書類

(1)　事業計画書(様式第2号)
(2)　まちづくり推進組織の規約
(3)　まちづくり推進組織の総会資料または確約書(様式第3号)
(4)　区長会による夢づくり地域交付金事業実施承認書(様式第4号)

注)上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

総務広報事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化が進む中で、地域住民同士のつながりが弱まり、地域活動を支える担い手が不足し、行事や取り組みがマンネリ化していることが課題となっています。これらの課題に対応するためには、新しい発想を取り入れ、幅広い世代が関わりやすい仕組みを整えることで、地域のつながりを再構築し、持続的な地域づくりにつなげていくことが求められています。

活動内容
①さくらさくらの散歩道
これまで地元有志の桜まつり実行委員会が続けてきた「さくらさくらの散歩道」のライトアップを、今年から瑞浪地区まちづくり推進協議会との協働事業として実施します。協働して取り組むことで地域のつながりが深まり、住民がまちづくりに参加する機会も広がり、地域活性化の促進が期待されます。また、地元有志の桜まつり実行委員会と当まちづくり推進協議会が本事業を通して連携を深め、今後の地域づくりの基盤づくりにもつなげていきます。

②絵手紙・ちぎり絵教室
絵手紙・ちぎり絵の作成を通じ、手書きのすばらしさや温もりと、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わっていただく教室を開催します。

③花の苗配布活動
自治会や町内会に所属する団体や学校などが、公園や学校 、道路沿いの花壇に花を植え付け、彩りを添えることで、地域美化と潤いのある環境づくりに貢献します。参加する団体や学校は植え付け後の花壇の管理も担います。

④みずなみ夏の寺子屋
近年地域の子ども達と大人のつながりができる環境や組織も少なくなってきています。子どもたちの居場所創りを目的に夏休みを利用し、駅前地域の賑わいづくりを兼ねてMビルを活用し、「みずなみ夏の寺子屋」を開設・運営します。サポーターは元教員や地域住民、学生、保護者などで、寺子屋先生役としてボランティアを募集して実施します。

⑤まちづくり新聞の発行
当まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解とイベントへの参加促進を図るため、
「まちづくり新聞 」を年２回発行します

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

①さくらさくらの散歩道
令和8年度より参画する「さくらさくらの散歩道」のライトアップでは、シャボン玉パフォーマーによるパフォーマンスと体験型イベントを開催します。ライトアップ期間（14日）で延べ3,000名の参加を予定します。これにより、地域に新しい賑わいを生み出します。

②絵手紙・ちぎり絵教室
年６回開催。開催月の原則第1土曜日午後に開催します。参加者は、１回20名で年120名の参加者を予定します。

③花の苗の配布活動
希望する団体に、春はサルビアなど4,000ポット、秋はビオラ・パンジーを3,000ポット、合計7,000ポットと肥料を配布します。

④みずなみ夏の寺子屋
駅前のMビルを利用し、夏休み期間中に１回（5日間）開催します。参加者は1日50名程度で延べ250名の子どもたちで行います。サポーターは1日5名程度を確保し、延べ25名で行います。

⑤まちづくり新聞の発行
新聞は瑞浪地区約4,500戸への全戸配布に加え、地域交流センター「ときわ」や地域内の郵便局窓口にも置くなど、幅広い住民に届けます。まちづくり新聞を年２回（8月・3月）全ページカラーで発行します。

４　事業に要する経費（総事業費）

1,474,900 円

５　交付金申請額

1,440,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	さくらさくらの散歩道（謝礼お菓子5軒）	報償費	10,000
	さくらさくらの散歩道（ジュース・お茶代）	食料費	10,000
	さくらさくらの散歩道（オープニング委託料）	委託料	50,000
	さくらさくらの散歩道（投光器設置・撤去）	委託料	150,000
	さくらさくらの散歩道（草刈り燃料・投光器電気代）	光熱水費	40,000
	さくらさくらの散歩道（ゴミ袋・コピー用紙・替え刃）	消耗品費	30,000
	さくらさくらの散歩道打合せ案内（葉書85円×30名）	通信費等	2,600
	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
5月	絵手紙・ちぎり絵教室（画仙紙はがき50枚）	消耗品費	2,000
	花の苗配布（春）（サルビア他4種4000ポット肥料）	消耗品費	350,000
	花の苗配布案内（春）（往復葉書170円×30団体）	通信費等	5,100
6月	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
	みずなみ夏の寺子屋（チラシ印刷×1000枚）	印刷費	35,000
7月	みずなみ夏の寺子屋（竹とんぼ材料・B紙他・名札）	消耗品費	25,000
	みずなみ夏の寺子屋（ボラ5日間お茶）	食料費	8,600
	みずなみ夏の寺子屋ボラ謝礼（交通費・昼食代）	報償費	60,000
	みずなみ夏の寺子屋開催案内等（往復葉書170円×30）	通信費等	5,100
	みずなみ夏の寺子屋開催案内等（Mビル使用料）	使用料等	5,000
	まちづくり新聞（編集会議案内葉書85円×20名）	通信費等	1,700
	まちづくり新聞（編集会議お茶170円×15名）	食料費	2,600
8月	絵手紙・ちぎり絵教室（画仙紙はがき50枚）	消耗品費	2,000
	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
	第53号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	180,000
10月	さくらさくらの散歩道（打合せ案内葉書85円×20名）	通信費等	1,700
	さくらさくらの散歩道（打合せお茶170円×15名）	食料費	2,600
	絵手紙・ちぎり絵教室講師謝礼	報償費	20,000
	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
11月	花の苗配布（秋）（パンジー・ビオラ3000ポット肥料）	消耗品費	250,000
	花の苗配布案内（秋）（往復葉書170円×30団体）	通信費等	5,100
12月	絵手紙・ちぎり絵教室（画仙紙はがき50枚）	消耗品費	2,000
	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
1月	まちづくり新聞（編集会議お茶170円×15名）	食料費	2,600
2月	絵手紙・ちぎり絵教室案内（葉書85円×参加者20名）	通信費等	1,700
	まちづくり新聞（編集会議案内葉書85円×20名）	通信費等	1,700
3月	さくらさくらの散歩道（打合せ案内葉書85円×20名）	通信費等	1,700
	さくらさくらの散歩道（打合せお茶170円×15名）	食料費	2,600
	絵手紙・ちぎり絵教室（チラシ印刷500枚）	印刷費	20,000
	第54号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	180,000
合　計			1,474,900

8 収支予算

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	1,440,000	
自主財源	34,900	
その他(　　)		
合　　計	1,474,900	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
まちづくり新聞の発行	まちづくり事業の理解と参加を促進するために、まちづくり新聞を発行します。	印刷費	360,000	まち新聞発行(全カラー)
		食料費	5,200	部会お茶
		通信費等	3,400	部会等案内葉書
		小計	368,600	
絵手紙・ちぎり絵教室	絵手紙・ちぎり絵の作成を通じ、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わい、絆を強くします。	報償費	20,000	講師謝礼
		消耗品費	6,000	画仙紙代
		印刷費	20,000	チラシ印刷
		通信費等	10,200	案内
		小計	56,200	
花の苗配布活動	春と秋に地域の団体に花の苗を配布し、潤いのある地域環境づくりを推進します。	消耗品費	600,000	7000P@75肥料
		通信費等	10,200	苗引き換え往復葉書
		小計	610,200	
みずなみ夏の寺子屋	夏休みの間の子ども達の居場所創りを目的に、Mビル内に「みずなみ夏の寺子屋」を開設します。これにより駅前地域の賑わいづくりにも寄与します。	報償費	60,000	交通費・昼食代
		印刷費	35,000	チラシ印刷
		食料費	8,600	お茶
		通信費等	5,100	葉書・切手
		消耗品費	25,000	竹とんぼ作り彫刻刀
		使用料等	5,000	Mビル使用料等
		小計	138,700	
さくらさくらの散歩道	土岐川堤防の桜並木をライトアップし、オープニングイベントなどを新たに行うことで地域の活性化を目指します。地元有志の桜まつり実行委員会の皆さんとまちづくり組織が協働して取り組むことで、地域の繋がりが深まります。	委託料	200,000	照明器具設置・撤去費
		報償費	10,000	電気謝礼
		食料費	15,200	お茶・ジュース
		光熱水費	40,000	投光器電気代・草刈り燃料
		通信費等	6,000	開催案内
		消耗品費	30,000	替刃・刈草収集袋
		小計	301,200	
合　　計			1,474,900	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

防災防犯事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
人口減少や高齢化、生活様式の変化により地域のつながりが弱まるなか、防災・防犯活動を通じて住民同士のつながりと共助の力を強くします。

活動内容
①青色回転灯防犯パトロール
パトロール活動は、子供たちの安全を確保するだけでなく、地域コミュニティの絆を強化する重要な役割を果たしています。これらのパトロール活動は、犯罪の予防にも寄与し、地域住民が互いに協力し合うことで、より安全安心な環境を作り出すことができます。

②防災講演会
自助・共助・公助を踏まえ、地域全体で災害に備える体制づくりを進めるとともに、命を守る三つの法則、①酸素の確保②体温の保持③水の確保についての防災術をテーマに講演会を行います。

③みずなみ草刈り隊
通学路などの草刈り清掃活動は歩道を清潔に保ち、犯罪を防ぐ効果があるだけでなく、地域住民の皆さんが協力し合うことでコミュニティの絆も強まります。この活動は、地域の美化だけでなく、住民の皆さんの生活の質の向上にも繋がります。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

①青色回転灯防犯パトロール
青色回転灯防犯パトロールによる巡回は、毎月第1第3金曜日午後3時からは小中学校通学路を中心に、第2第4第5金曜日午後7時からは地域全体を対象に実施します。延べ120名（40日／年）で行います。

②防災講演会
防災講演会は、各区役員及び防災対策担当者で100名の参加者（一般区民の参加可）を得て開催します。

③みずなみ草刈り隊
主に瑞浪小中学校通学路を中心に、年4回（5月から11月）実施します。

４　事業に要する経費（総事業費）

121,600 円

５　交付金申請額

110,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	青色回転灯防犯パトロール(5月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
5月	青色回転灯防犯パトロール(6月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
	青色回転灯パトロール(打合せお茶170円×15名)	食料費	2,600
	草刈り隊(刈草刃3枚)	消耗品費	6,000
	草刈り隊(お茶6名)	食料費	1,300
	草刈り隊(刈草収納袋)	消耗品費	3,600
	草刈り隊　刈り機燃料(ガソリン20L)	光熱水費	3,700
6月	青色回転灯防犯パトロール(7月当番案内葉書16名)	通信費等	1,400
	防災講演会(参加者粗品防災用品@600円×85名)	消耗品費	51,000
	防災講演会(参加者お茶@170円×100名)	食料費	17,000
7月	草刈り隊(お茶6名)	食料費	1,300
8月	青色回転灯防犯パトロール(9月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
9月	青色回転灯防犯パトロール(10月当番案内葉書16名)	通信費等	1,400
	草刈り隊(刈草刃3枚)	消耗品費	6,000
	草刈り隊(お茶6名)	食料費	1,300
10月	青色回転灯防犯パトロール(11月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
11月	青色回転灯防犯パトロール(12月当番案内葉書10名)	通信費等	900
	草刈り隊　刈り機燃料(ガソリン20L)	光熱水費	3,700
	草刈り隊(お茶6名)	食料費	1,300
12月	青色回転灯防犯パトロール(1月当番案内葉書10名)	通信費等	900
1月	青色回転灯防犯パトロール(2月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
2月	青色回転灯防犯パトロール(3月当番案内葉書12名)	通信費等	1,100
合　計			110,000

8 収支予算

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	110,000	
自主財源	11,600	
その他(　　)		
合　　計	121,600	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
青色回転灯防犯パトロール	住民参加の防犯活動を行います。地域住民がお互い協力してより安全で安心な環境づくりを目指します。	通信費等	11,200	当番案内用はがき代
		食料費	2,600	会議お茶代
		小計	13,800	
防災講演会	地域全体で災害に備える体制づくりと、命を守る三つの法則についての防災術をテーマに開催します。	消耗品費	63,000	防災用品
		食料費	17,000	講演会・会議お茶
		小計	80,000	
みずなみ草刈り隊	小中学校通学路などの清掃活動を行います。	光熱水費	7,000	草刈り機燃料
		食料費	5,200	お茶
		消耗品費	15,600	刈り刃
		小計	27,800	
合　　計			121,600	

様式第2号(第6条関係)

事業計画書

1 事業名

健康福祉事業

2 事業の概要(地域の課題、活動内容、目的等)

課題
住民の健康づくりと地域のつながりを強めるため、健康ウォーキングなどの参加しやすい活動を推進します。また、地域と学校が連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる取り組みを展開することで、誰もが安心して暮らせる地域環境の形成を目指します。

活動内容
①土岐川堤防健康ウォーキング
土岐川堤防沿いを家族で歩きながら季節の景色や川の自然を楽しめる、健康づくりを目的としたイベントです。参加者同士が交流しながら無理なく体を動かすことで、地域の健康増進とつながりづくりの両方に役立てることを目指します。コースにはチェックポイントを設け、血圧などの簡単な健康測定も組み合わせることで、楽しみながら健康意識を高めます。

②万尺川にホタルを(飼育と放流)
万尺川にホタルが戻る環境をつくるため、ホタルの幼虫を育てる「里親」を地域で募集します。また、川のごみ拾いなどの清掃活動を地域住民と協力して行い、自然環境を守りながら美しい川を次世代へ引き継ぎます。「ホタルが居着く」川づくりを目指し、地域ぐるみで取り組みを進めていきます。

③ホタルを観る会
家族で自然に親しみながら絆を深めることを目的に、瑞浪地区子ども会育成会連合会(瑞子連)と協働して開催するホタル観賞イベントです。会場周辺の安全確保や見守り体制を整え、特に子どもたちが安心して参加できるよう配慮します。ホタルの生態や地域の自然環境について学ぶ時間も設け、楽しみながら環境への関心を高める機会とします。

3 事業の成果目標(数字等でわかりやすく)

①土岐川堤防健康ウォーキング
土岐川堤防健康ウォーキングを春に150名の参加者で開催します。

②万尺川にホタルを(飼育と放流)
里親を3組お願いし、幼虫1,000匹を飼育します。3月下旬万尺川周辺の地域の皆さんと「瑞子連」の子ども達と一緒に、万尺川の清掃活動を行い、ホタルの幼虫1,000匹を放流します。

③ホタルを観る会
「瑞子連」との協働開催で6月上旬、地域貢献企業岐阜ダイナム瑞浪店駐車場で催し、参加者は500名を予定します。

4 事業に要する経費(総事業費)

298,000 円

5 交付金申請額

280,000 円

(内、交付金加算額　　円)

6 合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
5月	土岐川堤防ウォーキング（賞品代10名）	報償費	10,000
	土岐川堤防ウォーキング（参加者150名@600円粗品）	消耗品費	90,000
	土岐川堤防ウォーキング（お茶・ジュース・煎餅）	食料費	45,000
	土岐川堤防ウォーキング（チラシ印刷）	印刷費	25,000
	土岐川堤防ウォーキング（準備打合せ案内葉書85円×30名）	通信費等	2,600
	万尺川にホタルを（餌カワニナ5kg+送料）	消耗品費	7,600
6月	ホタル観る会（安全用ロープ・コーン・LED）	消耗品費	30,000
	ホタル観る会（ジュース・お茶　参加者500名）	食料費	60,000
8月	万尺川にホタルを（餌カワニナ5kg+送料）	消耗品費	7,600
11月	万尺川にホタルを（餌カワニナ5kg+送料）	消耗品費	7,600
2月	万尺川にホタルを（餌カワニナ5kg+送料）	消耗品費	7,600
3月	万尺川にホタルを（清掃と放流　ジュース・菓子）	食料費	5,000
合計			298,000

8 収支予算

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	280,000	
自主財源	18,000	
その他(　　)		
合　　計	298,000	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
土岐川堤防健康ウォーキング	家族や地域住民が土岐川堤防沿いを歩く健康ウォーキングを実施し、住民の健康づくりと地域交流の促進を図ります。	食料費	45,000	お茶・煎餅
		印刷費	25,000	チラシ
		通信費等	2,600	葉書・切手代
		消耗品費	90,000	粗品150人600円
		報償費	10,000	商品券10本
		小計	172,600	
万尺川にホタルを	万尺川をホタルが居着く川とするために、万尺川の清掃活動を行い環境美化保全を推進するとともに、ホタルの幼虫を飼育する里親を募集し、育てた幼虫を放流します。	消耗品費	30,400	ホタル餌カワニナ
		食料費	5,000	放流と清掃時ジュース
		小計	35,400	
ホタルを観る会	地域の環境保全と家族の絆を強くすることを目的に、瑞浪地区子ども会「瑞子連」と協働して開催します。	消耗品費	30,000	LEDライト等
		食料費	60,000	ジュース・菓子
		小計	90,000	
合　　計			298,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

青少年育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
担い手不足や活動のマンネリ化に対応するためには、新しいアイデアの導入や若い世代の参加促進が不可欠です。青空ワークショップでは、まちづくり活動に新たな工夫を取り入れ、若い世代の参画を広げるなど、青少年育成を軸とした取り組みを進めることで、地域のつながりと支え合う力を高めていくことが求められます。

活動内容
①体験農業　さつま芋苗の植付けと泥んこ遊び
地域や家族が一緒になって土に触れながら協力して作業することで、世代を超えた交流が生まれ、地域のつながりや家族の絆をより深める機会になります。瑞浪地区子ども会育成会連合会（瑞子連）と協働して体験農業としてのさつま芋苗の植え付けを実施します。昨年度初めて開催した「青空ワークショップ」で開催の希望が多かった「泥んこ遊び」では、「どじょうつかみ大会」を同時に行います。

②中学生と語る会（フジバカマの植栽活動）
地域と学校が協力して子どもを育てる「コミュニティ・スクール」の理念を踏まえ、中学生と地域住民が直接語り合う場を設けます。中学校での学びや日常生活、地域との関わりについて中学生が率直に話し、大人は地域の思いや期待を共有することで、相互理解を深めます。この語る会を通じて、地域が子どもたちを支え、子どもたちも地域に関心を持つ“双方向のつながり”を育み、より良い学校づくり・まちづくりにつなげることを目指します。また、地域の自然環境を守るために、フジバカマの苗を学校の花壇に植栽します。アサギマダラ蝶は、植栽したフジバカマの花蜜から毒素（ピロリジン）を体内に取り込み鳥などの天敵から身を守ったり、花粉を運び受粉を助けます。地域の子どもたちに美しい花と美しい蝶との関係を知ることにより、命と美しい自然環境の繋がりの大切さを感じてもらいます。

③第７回家族ふれあい芋ほり大会と「青空ワークショップ」
食の大切さや収穫の喜びを感じ、地域交流と家族の絆を深めることを目的に、食の大切さや収穫の喜びを感じ芋ほり大会を開催します。参加は家族単位とし、収穫したさつま芋のうち最も大きい1個の重さを競い、上位10組を表彰します。また、芋ほり大会に参加した若い世代と子どもたちが中心となり、地域の課題解決に向けたアイデアを話し合う「青空ワークショップ」を開催します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

①体験農業　さつま芋苗の植付けと泥んこ遊び
さつま芋苗の植え付けに参加者20家族50名で実施します。泥んこ遊びは、子ども5歳以上7歳までの30名で行います。

②中学生と語る会
中学生とまちづくり委員合わせて15名程度で開催します。また、フジバカマの苗200本を購入または地域の愛好家などから譲り受け、生徒と一緒になって花壇等に植栽します。

③家族ふれあい芋ほり大会と「青空ワークショップ」
芋ほり大会の参加者80家族300名で行います。できる限り多くの参加者を得て、青空ワークショップを開催します。農園管理作業などは延べ250名で行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

781,200 円

５　交付金申請額

759,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（地域内交流）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	体験農業（芋苗植え付けチラシ作成1,000枚）	印刷費	30,000
	体験農業（さつま芋肥料）	消耗品費	6,000
	体験農業（芋苗植え付け準備お茶30名）	食料費	2,600
	体験農業（草刈り燃料ガソリン20L）	光熱水費	3,500
	体験農業（芋苗植え付け案内用葉書30名）	通信費等	2,600
5月	体験農業（農園耕作謝礼・農園駐車場謝礼）	報償費	20,000
	体験農業（軍手・ブルーシート・コンパネ）	消耗品費	38,000
	体験農業（さつま芋苗600本）	消耗品費	40,000
	体験農業（泥んこ遊び　どじょう1kg）	消耗品費	7,000
	体験農業（芋苗植え付けマルチシート自然分解）	消耗品費	23,000
	体験農業（芋植え付け　お茶・ジュース）	食料費	25,000
	体験農業（芋植え付け　お堂使用料トイレ）	使用料等	20,000
	体験農業　損害保険（草刈りによる自動車ガラス破損）	保険料	23,000
	中学生と語る会（フジバカマ苗@400×200本）	消耗品費	80,000
6月	中学生と語る会　フジバカマの植え付け（名札等）	消耗品費	12,000
	中学生と語る会（お茶代生徒30名）	食料費	4,000
	体験農業（泥んこ遊びふり返りお茶代）	食料費	2,600
	芋ほり大会（レク保険）	保険料	35,000
7月	体験農業（草刈り　お茶・ジュース）	食料費	3,400
	体験農業（草刈り　替え刃3枚）	消耗品費	5,000
	体験農業（草刈り燃料ガソリン20L）	光熱水費	3,500
	体験農業　（さつま芋水まきホース20m1本）	消耗品費	12,000
	芋ほり大会　チラシ作成（全戸配布4500部）	印刷費	50,000
8月	体験農業（さつま芋肥料）	消耗品費	6,000
	体験農業（肥料まき　お茶15名）	食料費	2,600
	体験農業（草刈り燃料ガソリン20L）	光熱水費	3,500
9月	体験農業（草刈り　替え刃3枚）	消耗品費	5,000
	体験農業（肥料まき　お茶20名）	食料費	3,400
	体験農業（草刈り燃料ガソリン20L）	光熱水費	3,500
	体験農業（芋ほり前草刈り案内用葉書30名）	通信費等	2,600
	芋ほり大会　安全ロープ（100m1本）	消耗品費	8,000
10月	体験農業　（鎌3丁）	消耗品費	8,000
	体験農業（草刈り　お茶・ジュース）	食料費	3,400
	芋ほり大会（ワークショップ講師謝礼）	報償費	20,000
	芋ほり大会（賞品　商品券購入）	報償費	20,000
	芋ほり大会（駐車場謝礼・農地謝礼4月～3月	報償費	10,000
	芋ほり大会（ジュース、菓子、お茶300名）	食料費	123,000
	芋ほり大会（コンパネ・ブルーシート・杭）	消耗品費	34,000
	芋ほり大会（備中4丁・鍬2丁）	消耗品費	50,000
	芋ほり大会（開催案内と受付表郵送50家族）	通信費等	5,000
	芋ほり大会（雨天時公民館使用料）	使用料等	20,000
11月	芋ほり大会（託児所委託　幼児一時預かり）	委託料	5,000
合　計			781,200

8　収支予算

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	759,000	
自主財源	22,200	
その他（　　）		
合　　計	781,200	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
体験農業	さつま芋苗の植え付け作業など子どもが主役となって農業体験を実施。家族ぐるみで地域の交流を図り絆を強くします。昨年の「青空ワークショップ」で開催の希望が多かった、泥んこ遊び（どじょうつかみ大会）を家族ふれあい農園で行います。	報償費	20,000	耕運機・駐車場謝礼
		消耗品費	150,000	芋苗・農機具・マルチ
		食料費	43,000	お茶・ジュース・菓子
		印刷費	30,000	苗植え付けチラシ
		光熱水費	14,000	耕運機燃料
		使用料等	20,000	公民館お堂トイレ使用料
		保険料	23,000	レクリエーション・草刈り（車）
		通信費等	5,200	苗の植え付け案内葉書
		小計	305,200	
中学生と語る会・フジバカマ植栽活動	コミュニティ・スクール活動の理念を踏まえ双方向の交流を行います。同時に美しい蝶とフジバカマを残すために小中学校の花壇に苗を植えます	食料費	4,000	お茶（生徒30名）
		消耗品費	92,000	苗200本×@450円
		小計	96,000	
芋ほり大会・「青空ワークショップ」	食の大切さと収穫の喜びを感じ、地域の交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。大会は家族単位で参加し、掘った芋1個の重さで競い合い、１位から10位までの順位を決め表彰します。「青空ワークショップ」を同時開催します。	報償費	50,000	賞品代・農地駐車場謝礼
		消耗品費	92,000	コンパネ・備中
		食料費	123,000	お菓子・お茶・ジュース
		印刷費	50,000	チラシ（全戸配布）
		通信費等	5,000	案内と受付葉書
		委託料	5,000	託児所
		保険料	35,000	レクリエーション保険
		使用料等	20,000	公民館お堂トイレ使用料
		小計	380,000	
合　　計			781,200	

夢づくり地域交付金事業の様子

（瑞浪地区）

※ 写真は、令和７年度に実施した事業の様子です。
令和８年度夢づくり地域交付金（通常事業）で実施する事業のイメージとして活用ください。

令和７年度

瑞浪地区まちづくり

事業実績記録

［1］　安全安心なまちづくり事業］

青色防犯パトロール（5 月～3 月まで毎週金曜日）

実施回数:42回／延べ人数:99人



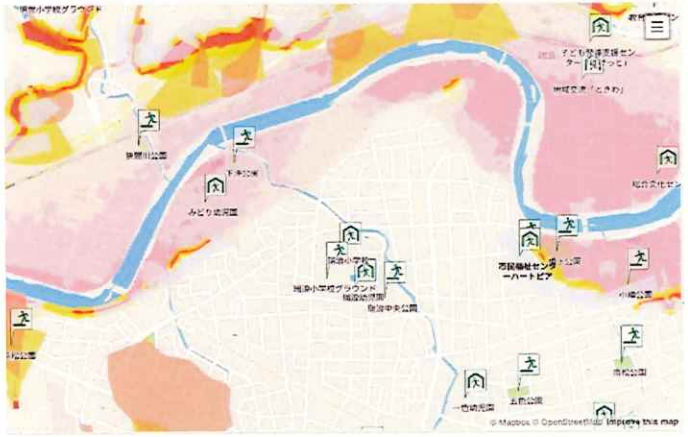
土岐川堤防健康ウオーキング（5月25日）

土岐川堤防コース・高松観音コース／参加者 123 人



防災講演会（12 月7日）

参加者43人



普通救命講習会（9 月 17 日・20 日）

延べ参加者 24 人



竹馬、竹とんぼづくり（9月21日）　参加者 50 人	健康講演会（2月22日）　参加者 24 人
	

［2］ 潤いのあるまちづくり事業

花の苗配布（5月30日・11月7日）

春：2016 ポット　秋：1575 ポット





心和ませ、自然を守る活動

ホタル観賞会（6月5日）



万尺川清掃、蛍の幼虫放流（3月21日）



絵手紙・ちぎり絵教室　　参加者延べ112人
（5月・8月・9月・10月・12月・2月の第1土曜日）



男女共同参画事業（7月23日）　　参加者 26 人



瑞浪美化チーム　　年4回



さくらさくらの散歩道(バブルパフォーマンス)
参加者 約1000人



［3］ 地域内の交流が活発なまちづくり事業

さつま芋苗の植え付け（5月18日）
参加者58人



家族ふれあい芋ほり大会と青空ワークショップ
（10月26日） 参加者 総勢145人



昆虫採集（8月2日）
参加者 50 人



みずなみ夏の寺子屋（7月28日～8月1日）
延べ 200 人



［4］　広報事業

まちづくり新聞の発行 （51 号8月1日 ・ 52号3月1日）	野立て看板貼替（11 月）
	 